令和8年度

自治体職員向け

NPO会員向け

河田防災塾

―― 津波防災に特化した実践的な学び ――

この度、関西大学社会安全学部社会安全研究センター長・河田惠昭特別任命教授により、三重県及び和歌山県内の自治体で危機管理業務に携わる職員の皆様を主な対象として、「河田防災塾」を開催する運びとなりました。

南海トラフ地震については、政府の地震調査研究推進本部による本年1月の発表において、従来から示されている高い発生確率に加え、新たな評価も示されました。評価をめぐっては専門家の間でもさまざまな議論があり、混迷を極めていますが、昭和南海地震からすでに80年が経過しており、歴史的な観点からは、いつ発生してもおかしくない状況にあるといえます。

特に三重県及び和歌山県では、激しい地震動に加え、巨大津波による甚大な人的被害及び社会経済被害の発生が懸念されています。

こうした状況を踏まえ、本年度の河田防災塾では、津波防災に特化した内容で実施します。津波現象に関する科学的・専門的な知識は、一般的な学校教育の中で体系的に学ぶ機会が限られている一方、津波被害が想定される地域で危機管理業務を担ううえでは欠かすことのできない知識です。

本防災塾を通じて、津波に関する基礎的かつ実践的な知識を身につけていただき、日々の危機管理業務や地域防災の充実に役立てていただければ幸いです。

なお、本防災塾は自治体職員を主な対象としておりますが、災害対応や地域防災に関係するNPOのみなさまの参加も歓迎いたします。

開催概要

対象：
三重県・和歌山県内
自治体で危機管理業務に
携わる職員の皆様を
主な対象

内容：
津波防災に特化した
全7回講座

開催日時
毎月1回
（裏面をご覧ください）
15:00~16:30

形式：
関西大学梅田キャンパス
での会場開催＋
WEB配信の
ハイブリッド

受講料：
5,000円
（7回分）

使用テキスト：
岩波新書
『津波災害（増補版）
―減災社会を築く』

プログラム・開催概要

津波防災に特化した全7回講座

講座プログラム

各回 15:00~16:30 開催

回	月日	主たるテーマ	解説目的
1	令和8年9月24日(木)	なぜ地震で津波が発生するのか	津波の力学的特徴
2	10月22日(木)	津波の種々の特徴	効果的な津波防災
3	11月26日(木)	避難せずには生き残れない	生きるために避難する
4	12月24日(木)	遅れている地震予知学	世界一の津波防災国
5	令和9年1月21日(木)	南海トラフ地震津波の特徴	津波減災を実現する
6	2月25日(木)	東日本大震災の反省	津波未経験が最悪
7	3月25日(木)	南海トラフ地震津波の減災	最優先する避難行動

使用テキスト

岩波新書 (1708)
河田惠昭 著
『津波災害(増補版)
ー減災社会を築く』
2018年

会場・問い合わせ

会場：関西大学梅田キャンパス 8階ホール

住所：〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1-5

共催・運営事務局：
NPO法人 環境防災総合政策研究機構 /
Kan-Daiリカレント+

問い合わせ・参加申込先：
NPO法人 環境防災総合政策研究機構
TEL：03-3359-7971
FAX：03-3359-7987
E-mail：manabi@npo-cemi.com

対象は主として三重県・和歌山県内自治体職員です。